

令和8年8月19日

課名 警察本部警務部警務課

担当者 課長 井本、参事官 島谷

内線 2671

県警察の機能強化計画（案）に関する県民意見募集の実施状況等について

1 要旨・目的

県警察の機能強化計画（案）に関する県民意見募集で寄せられた意見等について報告するもの

2 実施状況

(1) 実施期間

令和8年6月29日（月）から同年7月28日（火）までの間

(2) 意見の件数

47件（37人）

(3) 寄せられた意見

別紙のとおり

3 今後の方針

- 県民意見募集結果について、意見に対する県警察の考え方を付して県民へ公表
- 意見等を踏まえ、「県警察の機能強化計画」を策定

県警察の機能強化計画（案）に関する県民意見募集の実施状況について

1 意見募集の期間及び意見総数

募集期間	令和8年6月29日（月）～7月28日（火）
意見総数	47件(37人)

2 寄せられた意見

意見の概要	
1	働き方改革のような内容があり、大変良いと思う。しっかり人員確保をしてほしい。
2	昨今、特殊詐欺や強盗殺人といった凶悪犯罪が身近な事になっていると感じている。
3	県警防犯アプリ「オトモポリス」や警察庁推奨の特殊詐欺対策アプリなどの活用推進のため、地域の民生委員等と協力し、幅広く広報を行ってほしい。
4	計画の方向性は理解できる。計画の実効性について検証を行い、想定した効果が得られなかった場合には、その原因を分析して必要に応じて運用や体制の見直しを行ってほしい。
5	警察署の再編により分庁舎となる地域について、住民サービスや相談体制、地域との連携がどのように維持・強化されるのかについて、分かりやすく説明していただきたい。
6	犯罪に対応する範囲が広がれば、警察官はますます忙しくなるのではないかな。警察官の体調等も考慮すべきではないか。
7	民生委員と協力して行う活動についてもデジタル化を進めてほしい。
8	広範囲を効率的にパトロールするために、先端技術の導入・活用を進め、警察官の負担軽減と迅速な初動対応につなげてほしい。
9	積極的な職務質問活動や、地域と連携した見守り、防犯カメラなどの活用により、犯罪抑止につなげていただきたい。
10	爆音走行するバイクによって平穏な生活が脅かされており、取締りを強化してほしい。
11	（計画案について）問題はない。
12	（府中署と福山北署の再編について）これまで通り事件・事故の対応をしてもらえるとの事で安心している。また、運転免許証の更新は3～5年に一度の事なので福山北署に集約した方が、より人員が楽になると思う。住民としては、いざという時にすぐ助けてもらえるのが一番の望みであり、分庁舎や派出所は小さくて良いので増やしてもらいたいほどである。

意見の概要	
13	呉警察署からの支援要員は、（分庁舎となる江田島署が管轄している）江田島市において事件・事故に対応する際には、「よその地域」という感覚になることなく、「呉市」と同様の愛情、気持ちをもって対応していただきたい。
14	子供たちが安心して暮らせる広島、明るい未来を描ける社会であるためにも、防犯カメラの設置拡大、防犯パトロールの強化、不審者への迅速な対応などの対策をより一層充実させていただきたい。
15	（自転車の安全利用について）青切符制度の導入について、取締りが目的ではなく、「なぜルールを守る必要があるのか」「その先に守られる命がある」というメッセージを、制度の説明や広報の中でも、より強く発信していただきたい。
16	東広島市に住んでいるが、今回の警察署の再編には基本的に賛成である。
17	今回の計画では、交番・駐在所の再編については書かれていないが、駐在所については警察署や分庁舎に近い施設については統合して、警察署や分庁舎に警察官を配置するべきである。駐在所は毎日警察官が勤務しているわけではないようなので、交番や分庁舎に警察官を配置してパトカーによる巡回を増やしてほしい。
18	警察署の再編方針自体は理解でき、賛成であり、小規模で体制が脆弱な警察署が点在するより、拠点性の高い警察署に集約すべきである。一方で、今回の案では再編後の三次警察署の管轄区域が広すぎるのではないかと。廿日市署が大竹市を管轄する案や、三原署が世羅町を管轄する案は納得感があるが、三次署が庄原市に加えて安芸高田市まで管轄するのは、広すぎて不安を感じるため、再考を求める。
19	小規模警察署の管理部門を拠点署へ集約し、人的リソースを現場へシフトする計画案の方向性を支持する。北広島町や神石高原町のように、現在、町内に警察署や分庁舎が存在しない地域において、町の中心部にある主要な交番を「分庁舎並みの相談受理・初期捜査機能を持つ拠点」にして、全県的な治安の均一化を図ってはどうか。
20	警察本部の機能強化について、本部執行隊の「東西南北の4拠点」を「方面隊」という明確な組織単位にすれば、重大事案発生時に「迅速かつ的確な事案対処体制」を現場に近い場所で確立できるのではないかと。 また、サイバー犯罪、匿名・流動型犯罪グループ（トクリュウ）、人身安全事案に対応する「方面本部」を拠点警察署に設置して、高度な専門的人員を集約し、各方面における技術支援を図ることで、SNS型投資詐欺などの急増する新たな治安課題に対処してはどうか。
21	昨今、特殊詐欺などの犯罪が増えていると感じている。広島県内でも特に広島市は人口が多く、パトロール活動を行う自動車警ら隊などによる「見せる犯罪防止活動」が有効だと考える。 明らかに警察官の姿を見かけることが増えたと思えるくらい警察官の数と警ら活動は増やしてもらわないと、いつ凶悪犯罪が増えるかわからない。

意見の概要	
22	今回の計画（案）については、概ね賛成だが、警察署ではなくなる（分庁舎になる）という事について、地域住民の不安解消のため、より丁寧できめ細やかな説明を実施していただきたい。
23	北広島町にある千代田交番は相当の築年数が経過しており、幹線道路に接するところに建て替えることにより犯罪抑止効果を高め、災害時に備えて、宿舎など警察官の居住環境を整備するなどして地域に根差した警察活動を展開できれば、地域住民の安心感だけでなく、犯罪抑止効果も向上するのではないかと。
24	管轄警察署の変更等により、地域における治安向上が見込めるとあり、大変良い計画と思う。
25	警察の原点となる理念を大切にしながら、AIなどの最新の技術を導入（交通事故分析、画像解析、特殊詐欺被害抑止等）することで、より質の高い警察活動が期待でき、警察組織をより強く、県民から信頼される組織にすることができると思う。
26	地域における安全対策について、地域住民、民生委員、町内会、防犯ボランティアとの連携を強化し迅速に警察へ情報提供するほか、通学路においては防犯カメラの設置や見守り活動を充実させることで、子供の安全を確保してはどうか。
27	自動車警ら隊や交番勤務の警察官の活動を増やし、夜間の住宅街のパトロールを増やしてほしい。また、各警察署、本部のパトカーの台数を増やしてほしい。
28	未解決の殺人事件があるほか、田舎でも爆音を響かせながらの暴走行為を時々見かける。そんな中で警察署を再編し、地元から警察庁舎が無くなってしまふとなると、住民の「安心・安全」は確保できるのか。様々な問題があると思うが、今有ることで県民・住民の「安心・安全」が得られている庁舎を無くすのは、考え直して頂きたい。
29	昨今の詐欺被害、強盗殺人等の凶悪犯罪、子供や高齢者の安全対策を考えると地域との綿密な連携の必要性を強く感じる。
30	犯罪が多様化しているため、組織犯罪・少年犯罪・交通事故への対応や防犯活動など、分業化してはどうか。
31	警察署の再編で減る署長のポストは、警察本部などに再配置して活用してはどうか。
32	どんな組織でも人が大切であり、警察で勤務する方々のワークライフバランス等への配慮をお願いします。
33	計画（案）について賛同する。早期に計画に沿った体制が整うことを願っている。

意見の概要	
34	今回の機能強化計画（案）では、交番・駐在所（派出所）の再編について触れられていないが、居住者数や学校等の配置数、官公庁の出先機関などの有無、事業所の勤務者数等を勘案し、数値が一定数以下の地域では無人化も検討せざるを得ない状況ではないか。 廃止するのでは無く、無人化して警察官を警察署や分庁舎に集約し、無人となった施設には、通信機器を整備して、地域住民からの相談や困りごとには、一次的にオンラインで対応するなどの対策も、検討が必要ではないか。
35	ニュース番組で流れる最近の犯罪情報を見て、憂慮している。身近な地区である東広島市黒瀬町で発生した事件と三原市の事件の犯人が、なかなか逮捕されなかったことから不安を感じていた。反面、最近の防犯カメラ映像のリレー捜査が大きな成果を上げていることに、防犯カメラの役割の大きさを感じている。 県全体の人口が減少し、山間地域がますます過疎化し、昔は隣人同士で共有していた地域情報が共有できない時代となり、田舎地域で発生する犯罪を抑止できない時代となるのではと感じる。
36	防犯カメラの設置が容易になっている昨今、警察と住民の連携を強化し、警察に積極的に協力できる住民と防犯カメラを使って連携できると犯罪抑止、犯罪調査の効率化などを図れるのではないか。 具体的には、「警察に協力できる住民を募集し、個人が設置済みの防犯カメラに警察がアクセスできるように、カメラの共有アクセス権を与える」「カメラがあれば犯罪の検知に役立つと思われる場所の住民に、積極的に協力を求める」など。
37	三次・庄原・安芸高田が1つの区域となった場合、2,562km²を超え、香川県よりも広くなる。それが1つの署となれば、機動性などが問われてくるのではないか。
38	広島県警における警察署の再編は平成30年が最後であり、（トクリュウが台頭する）治安情勢前であることから、近年再編を行った他県警の現状、メリットなどを示してほしい。
39	（将来、治安が悪化した場合に備え）警察官の増員・通訳人の確保・古い小規模署の建て替えなどの対策を講じてほしい。
40	重大な事件・事故が発生し、拠点警察署から分庁舎へ警察官が派遣される場合、時間がかかることに加え、対応が長期化することで派遣される警察官の負担が大きくなるのではないか。
41	（過去の警察署の再編について）分庁舎にした効果で事件が減った、事故が減ったというのは人口が減っているから事件も事故も減っているのが当然ではないか。
42	人口が減っている地域に警察官を配置しているのは非効率というのは理解できるが、サイバー犯罪などはパソコンがあればどこにいても捜査が出来るのではないか。このために人を中心部に集める必要があるのか。

※ 寄せられたご意見について、趣旨を損なわない程度に内容を要約又は分割して掲載しています。

※ 県警察の機能強化計画（案）の内容に整合しないご意見等については、掲載していません。